

講義・演習概要 (シラバス)

第1部課程第122期 (平成26年4月8日～平成26年9月5日)

課 目 名	自治体行政学
時 限 数	12時限
担 当 講 師	東京大学名誉教授 大森 彌 (行政学・地方自治論) <プロフィール> 1940年 東京都生まれ 1968年 東京大学大学院博士課程修了、法学博士 1971年 東京大学教養学部助教授 1984年 東京大学教養学部教授 1997年 東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長 2000年 千葉大学法経学部教授、東京大学名誉教授 2005年 千葉大学定年退職
ね ら い	政権交代と地方分権改革、マニフェスト選挙と政策運営、地方自治法の改正、地方議会改革、道州制基本法案、少子高齢化と「協働」の台頭など、地方自治の潮流には大きな変化が見られる。本講義では、このような変化の諸相を概観し、自治体行政の役割と課題について理解を深める。
講 義 概 要	1. 地方自治への視点—対等・協力、補完性の原理と近接性 2. 政権交代と分権改革—分権型国家への道 3. 自治体行政の課題—人口減・少子高齢社会への対応 4. 都道府県と市町村の関係—大都市制度と小規模市町村、道州制 5. 公選職と職員—首長・議会と政策形成 6. 職場組織と人事評価—大部屋主義と人事システムの確立 7. 管理職の役割—「人組みは人の心組み」
受講上の注意	特になし。
使 用 教 材	最近の著書3冊 『政権交代と自治の潮流』(第一法規、2011年)、『変化に挑戦する自治体』(第一法規、2008年)、『官のシステム』(東京大学出版会、2006年)
効 果 測 定	なし。
そ の 他 (他の課目との関連)	「地方自治制度の課題」